

大会名 Competition	第27回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-112	Year Month Day Time 2014 年 5 月 5 日 10 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
洛 南	(14 1st 19 19 2nd 28 10 3rd 18 19 4th 16 OT)	明 成
	62 ●	81 ○

主審:Referee 芳賀 聡 福島
副審:Umpire 小川 裕之 秋田
佐藤 良明 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	村井大 陸	CAP	4	0	2	0	0	4	×	増子 優 騎		2	0	1	0	0
5	×	菅 祐 史		11	1	4	0	0	5	/	高橋 麟太郎		0	0	0	0	0
6	×	富田 頼		4	0	2	0	3	6	×	納見 悠 仁		11	1	4	0	5
7	×	澤田 絢 以		8	1	2	1	0	7	/	富樫 洋 介		0	0	0	0	1
8	×	岡田 卓 也		2	0	1	0	2	8	/	井上 駿		0	0	0	0	0
9	/	下田 忠 至		0	0	0	0	0	9	×	足立 翔		6	0	3	0	2
10	/	高田 颯 斗		0	0	0	0	0	10	×	三上 侑 希		36	8	6	0	0
11	/	寺嶋 良 介		13	1	4	2	1	11		江戸保 賢 人		-	-	-	-	0
12	/	鈴木 悠 介		2	0	1	0	1	12	/	江戸保 礼 央		0	0	0	0	0
13	/	田邊 陸 也		16	0	5	6	0	13	/	伊藤 修 人		2	0	1	0	0
14	/	長谷川 寛 元		2	0	1	0	2	14	×	八村 塁	CAP	22	0	10	2	3
15	/	荒川 颯 斗		0	0	0	0	2	15	/	高柳 紗 万		2	0	1	0	0
16	/	矢野 広 大		0	0	0	0	0	16		庄司 勇 人		-	-	-	-	0
17	/	津屋 一 球		0	0	0	0	1	17		柳瀬 亮		-	-	-	-	0
18	/	柳川 幹 也		0	0	0	0	0	18		清水 翔 太		-	-	-	-	0
コーチ		吉田 裕 司							コーチ		佐藤 久 夫						
		合 計		62	3	22	9	12	コーチ		高橋 陽 介						
									合 計				81	9	26	2	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ここまで全勝同士、優勝を賭けた一戦は両チームともにハーフマンツーマンディフェンスでスタートする。1Q、立ち上がり、明成は#14八村のインサイドで先制すると、#10三上の3Pで加点し、0-7と試合の主導権を握る。対する洛南は開始3分あたりによく#5菅の3Pで初得点を決めるものの、明成は高さの前にゴール下で仕事をさせてもらえない。それでも洛南は#4村井のジャンプシュートなどミドルシュートを確実に加点し食らいついていく。14-19で終了。

2Q、洛南は開始直後#13田辺の3連続得点で同点に追いつくと、#14長谷川のジャンプシュートで逆転に成功する。対する明成も#10三上の3P、#14八村のゴール下で応戦し、点の取り合いとなる。残り6分となったところで洛南はタイムアウトを取り、ミドルシュートを多投するもの決めることができず、逆に明成の#10三上が2本の3Pを含む3連続得点を決めると流れは一気に明成へ。洛南も早い展開から立て直しを図るものの、その後も確実に加点した明成が33-47と14点リードで前半終了。

3Q、追いつきたい洛南はタイトなディフェンスから確実にリバウンドを取って攻撃を仕掛けるものの、ことごとくシュートを外し続け、5分間ノーゴールとなる。リズムがつかめない洛南に対して、明成は#10三上の3Pや#4増子のドライブでリードを20点差に広げる。洛南は#5菅が一人気を吐くものの、点差を詰め切れず43-65で3Q終了。

4Q、洛南はフルコートマンツーマンで明成にプレッシャーをかけるが、3Q同様シュートを思うように決められない。明成は#6納見のジャンプシュートなどで47-73とさらに点差を広げ、突き放す。洛南は#7澤田の連続得点で点差を縮め、フルコートゾーンで最後の反撃を試みるが時すでに遅し、結局62-81で明成が全勝対決を制した。